

- 農村料理の基礎から応用編まで利用者のニーズに合わせた体験学習ができる運営体制を構築し、農産物の少量多品目生産や固有の食文化を継承できる人材育成を継続していく。
- 日英二ヶ国語対応の高品質の体験学習コンテンツ開発により、町内に今年オープンする滞在型リゾート施設（年間600万人の集客目標）との連携を推進しながら、平日稼働率の向上を図る。



【採択年度】
令和元年度

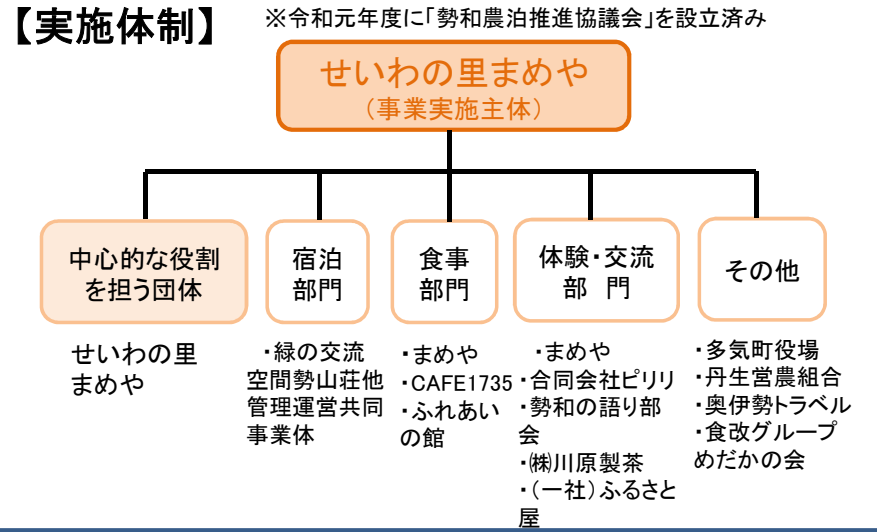
【事業実施期間】
令和元～2年度



地域のシンボル丹生大師



国内初の世界かんがい施設遺産に登録された「立梅用水」



- 【特徴的な取組】
- 地域固有の食文化取材及び学習プログラム化
 - 外国人旅行者の体験学習をサポートする人材育成
 - 広報素材(静止画、動画、日英テキスト)の制作



地域資源の動画撮影



英語のおもてなし勉強会





地域住民への聞き取り

【取組内容】

○インバウンド対応へ向けた取組や目標

- ・4人の作業員を中心に地域住民へ食をテーマにした取材活動を実施し、地域食材を使った食生活や物語をテキスト化。それらの情報を元に編集した農村料理の体験学習プログラムを多気町の国際交流支援員や近隣に暮らす在日外国人にデモンストレーションし、具体的な商品化に向けてブラッシュアップしていく。
- ・体験学習に参加した外国人の満足度を高めるべく、滞在中の英語解説をサポートできる人材育成を展開。英語スキルの向上を最優先にせず、優しい日本語の使い方や文化・風習の違いを理解すること、農村料理に関する地域固有の知識・情報を習得する。




インバウンド対応状況 (青: 対応)

Wi-Fi	洋式トイレ	キャッシュレス	外国語HP	外国語案内表示	外国語ネット予約
					